

# 施策評価シート

施策コード	3302	平成27年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	防犯・交通安全対策の充実	所属名	総務部防災調整監 危機管理課	

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る

## 2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○近年、犯罪件数は、おおむね減少傾向にあります。凶悪犯罪は後を絶たず、犯罪の抑止には社会の規範意識のさらなる向上が求められています。</p> <p>○犯罪に対する啓発、防犯設備の設置など、防犯体制整備等の一層の推進が必要です。</p> <p>○本市は、「交通安全都市宣言（昭和37年）」、「飲酒運転追放都市宣言（昭和47年）」、「暴走族追放都市宣言（昭和56年）」を行い、市民とともに交通安全の取組みを推進しています。</p> <p>○交通事故死亡者数及び交通事故件数は、全体として減少傾向にあります。交通事故死亡者に占める高齢者の割合は上昇しています。</p> <p>○引き続き、高齢者の交通安全意識の一層の向上を図るとともに、子どもや障がいのある人も含めた交通弱者を交通事故から守る取組みを進める必要があります。</p>
めざす方向	警察、国、県等関係機関との連携を強化しながら、地域における防犯体制の構築と交通安全活動の推進による、安全・安心なまちをめざします。
達成するための対策・手段	<p>①自主防犯活動団体の支援</p> <p>②地域や家庭での交通安全活動の促進</p> <p>③交通安全施設の整備</p>

## 3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	犯罪件数	件	目標	2100	2100	2100	2100	2100
				実績	1773	1494	1649	1491	1165
				目標達成率	84%	71%	79%	71%	55%
		(指標の説明) 市内の刑法犯認知件数。基準値は、平成17年から21年の平均件数。							
	2	交通事故発生件数	件	目標	732	724	716	708	700
				実績	624	545	466	454	362
				目標達成率	85%	75%	65%	64%	52%
		(指標の説明) 市内で発生した交通事故件数。(基準値は平成21年)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
目標達成率									
(指標の説明)									

## 4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	64,402	57,042	78,882	99,195	106,573

## 5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果</p> <p>(成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>安全で安心なまちづくりの推進に向け、今年度も、犯罪防止に向けた啓発活動・情報の発信（広報紙の発行や街頭指導）や警察等関係機関との連携（連絡会議等）、各地域の自主防犯活動団体の育成や指導に向けた取り組みを押し進めました。地域社会の規範意識の向上にその役割を担ってきました。</p>
--	--

## 6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント</p> <p>(部としての施策の方向性)</p> <p>※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>関係機関と連携しながら、防犯体制の充実、巧妙化する詐欺や犯罪から身を守る啓発、交通安全活動の推進による「身近なくらしの安全を守る」取り組みの推進に努めます。</p>

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001457	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	安全安心まちづくり推進事業		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	鳥取市安全で安心なまちづくり推進条例
施策	3302	防犯・交通安全対策の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	犯罪件数		1,773件	2,100件	運営方法	直営
	交通事故発生件数		624件	700件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	安全安心まちづくり推進事業費			予算事業コード	01-02-01-11-23-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市の安全で安心なまちづくり (防犯)
意図 (どのような状態にするために)	市民との協働により、市民が安全で安心して暮らせる犯罪のないまちとすることを目的とする。
手段 (どうするのか)	防犯担当職員を配置し、各地区防犯協議会との連絡調整や支援、自主防犯活動団体の活動支援、防犯講座の開催、自主防犯活動団体ネットワーク会議の開催等を行い、市民自らが行う防犯活動の支援や防犯意識の啓発を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・防犯ボランティアリーダーの養成・防犯講習会への講師派遣 ・防犯ビデオの貸し出し・広報紙発行・自主防犯活動団体ネットワーク会議開催	・防犯ボランティアリーダーの養成・防犯講習会への講師派遣 ・防犯ビデオの貸し出し・広報紙発行・自主防犯活動団体ネットワーク会議開催	・防犯ボランティアリーダーの養成・防犯講習会への講師派遣 ・防犯ビデオの貸し出し・広報紙発行・自主防犯活動団体ネットワーク会議開催	・防犯ボランティアリーダーの養成・防犯講習会への講師派遣 ・防犯ビデオの貸し出し・広報紙発行・自主防犯活動団体ネットワーク会議開催	・防犯ボランティアリーダーの養成・防犯講習会への講師派遣 ・防犯ビデオの貸し出し・広報紙発行・自主防犯活動団体ネットワーク会議開催	
	年度別実績	・広報紙発行10回 ・自主防犯活動団体ネットワーク会議3地区合同開催	・広報紙発行12回	・広報紙発行12回	・広報紙発行16回 ・自主防犯活動団体ネットワーク会議(各署管内ごと)	・広報紙発行13回 ・自主防犯活動団体ネットワーク会議(各署管内ごと)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,431	4,273	4,262	4,279	2,789	
	直接経費 A	1,972	1,900	1,903	1,897	2,053	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,972	1,900	1,903	1,897	2,053		
人件費 B	2,459	2,373	2,359	2,382	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	自主防犯活動団体ネットワーク会議	回	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	0	0	1	1
	(指標の説明) 自主防犯活動団体相互及び警察等関係機関の連携強化を目的とした会議の回数 23年度のみ3警察署管内合同								
2	安全安心だよりの発行		回	目標	6	6	6	12	12
				実績	10	12	12	16	13
	(指標の説明) 自主防犯活動団体の活動等の情報共有を目的に発行する広報紙の発行回数								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 危機対策係 0857-20-3127</p> <p>【9次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 近年の少子高齢化、都市化の進展等の社会環境の変化が犯罪に対する防止機能を低下させることから、本市では、平成18年に市並びに市民等の犯罪防止について果たす責務等を定めた「鳥取市安全で安心なまちづくり推進条例」を制定した。関係機関との連携を強化し、市民との協働による安全で安心なまちづくりを推進する。</p> <p>【事業の成果】 ◇自主防犯活動団体や警察との情報交換、街頭啓発や防犯フォーラムへの協力等を通じ、関係団体相互の連携を深め、地域の実情に応じた安全で安心なまちづくりを推進する。 ◇危機管理課に防犯担当者を配置し、各地区防犯協議会の連絡調整及び支援を実施。 ・防犯ビデオの貸し出し ・各種啓発活動（広報紙発行13回）の実施 ・安全で安心なまちづくりネットワーク会議の開催（情報交換及び共有）</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市における犯罪の発生件数は概ね減少傾向にあるが、この傾向を維持するため、防犯に関する取り組みを継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	自主防犯活動団体ネットワーク会議	100%			100%	100%
	2	安全安心だよりの発行	167%	167%	200%	133%	133%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民が安心安全に暮らせるように、行政の責務として防犯体制の確立、住民の防犯意識の高揚を図る。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	犯罪の発生件数は概ね減少傾向にある。引き続き防犯活動に取り組む。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	安全で安心なまちづくりネットワークを利用し、引き続き犯罪の防止に取り組む。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	安全で安心なまちづくりネットワークを各地域に広げていくことで、防犯意識の高揚を図る。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本市における犯罪の発生件数は概ね減少傾向にあるが、この傾向を維持するため、防犯に関する取り組みを継続する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001452	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	交通安全活動促進事業(交通安全対策)		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	鳥取市交通安全計画 鳥取市交通安全指導員設置規則
施策	3302	防犯・交通安全対策の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	犯罪件数		1,773件	2,100件	運営方法	直営
	交通事故発生件数		624件	700件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	交通安全対策費(協働推進)			予算事業コード	01-02-01-09-02-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	交通安全対策の向上と市民の交通安全思想の高揚を図り、市内で発生する交通事故の件数を減らし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進する。
手段 (どうするのか)	自動車や自転車の利用者、歩行者など、それぞれの立場に立った交通安全に関する啓発活動を実施する。特に、高齢者が関係する交通事故が増加していることから、高齢者宅等を訪問し、交通安全の声かけや反射材の着用を呼び掛ける。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
		交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命 高齢者交通安全教育訪問の実施	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命 高齢者交通安全教育訪問の実施	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命 高齢者交通安全教育訪問の実施	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命 高齢者交通安全教育訪問の実施	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命 高齢者交通安全教育訪問の実施	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命 高齢者交通安全教育訪問の実施	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命 高齢者交通安全教育訪問の実施
年度別実績	交通安全運動の実施(4期) 交通死亡事故多発警報発令に伴う広報検問(2回) 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命(新規2名) 高齢者交通安全教育訪問の実施	交通安全運動の実施(4期) 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命(新規6名) 高齢者交通安全教育訪問の実施 通学路安全点検の実施(市内396ヵ所)	交通安全運動の実施(4期) 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命(新規17名) 高齢者交通安全教育訪問の実施 通学路安全点検の実施(市内125ヵ所)	交通安全運動の実施(4期) 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命(新規5名) 高齢者交通安全教育訪問の実施 通学路安全点検の実施(市内97ヵ所)	交通安全運動の実施(4期) 交通安全大会の実施 交通安全指導員の任命(新規20名) 高齢者交通安全教育訪問の実施 通学路安全点検の実施(市内100ヵ所)			
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		12,367	10,096	10,476	9,425	11,360	
	直接経費 A		10,118	7,868	8,290	7,168	9,153	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		211	226	219	361	272
一般財源		9,907	7,642	8,071	6,807	8,881		
人件費 B		2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員		0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	広報活動等実施回数	回	目標	278
			実績	264	265	272	263	267
	(指標の説明) 交通安全に関する広報、研修、訪問事業の実施回数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】市民活動係 0857-20-3182</p> <p>【9次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 交通安全基本法に規定される自治体の責務として策定された交通安全5ヵ年計画を実施することにより、市民生活における交通面での安全を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種交通安全関連機関、団体との連絡調整</li> <li>2. 交通安全指導員の任命 定員：130名(実数121名) 任期：平成27年4月～平成29年3月(2年間)</li> <li>3. 交通安全運動の実施(年4回)</li> <li>4. 交通安全大会の実施(年1回)</li> <li>5. 啓発、研修、講演会等の実施</li> <li>6. 高齢者交通安全教育訪問事業の実施</li> </ol> <p>【今後の課題・方向性】 2015年の全国的な交通事故死者数は、65歳以上の高齢者が半数以上を占めている。高齢者による事故を減らすためにも、第10次鳥取市交通安全計画を作成するとともに、高齢者の免許証自主返納を推進する取り組みを検討する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	広報活動等実施回数	95%	94%	101%	97%	99%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	高齢者による交通事故は増加傾向にあり、高齢者宅訪問など的高齢者を対象にした啓発事業は必要であるため。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市内における交通事故件数は、362件と前年より90件減少していること、高齢者の交通事故件数も79件と前年より27件減少していること、チャイルドシートの使用率の改善が図られている傾向が見て取れるため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	自転車と高齢者による交通事故が増加傾向にあることから、自転車利用者には自転車保険の加入促進、高齢者には高齢者宅訪問や啓発グッズの配布を行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	交通安全指導は全市民を対象に行っており、特に自転車利用者や高齢者による事故を減少するために活動している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	2015年の全国的な交通事故死者数は65歳以上の高齢者が半数以上を占め、また、加齢に伴う身体能力や情報処理能力の低下により高齢者ドライバーが加害者となる事故も増加している。今後このような事故を減少させるためにも、鳥取市交通安全対策会議の開催やパブリックコメントの実施による市民の意見を反映させた第10次交通安全計画を作成するとともに、高齢者の免許証自主返納を推進する取り組みを検討する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001454	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	交通安全活動促進事業(交通安全対策協議会)		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	鳥取市交通安全計画
施策	3302	防犯・交通安全対策の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	犯罪件数		1,773件	2,100件	運営方法	補助金交付
	交通事故発生件数		624件	700件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市交通安全対策協議会補助金			予算事業コード	01-02-01-09-05-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市交通安全対策協議会
意図 (どのような状態にするために)	交通安全対策の向上と市民の交通安全思想の高揚を図り、市内で発生する交通事故の件数を減らす。
手段 (どうするのか)	交通安全対策協議会及び交通安全保護者の会が実施する事業に対し補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰 交通安全保護者の会だより発行	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰 交通安全保護者の会だより発行	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰 交通安全保護者の会だより発行	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰 交通安全保護者の会だより発行	交通安全運動の実施 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰 交通安全保護者の会だより発行	
	年度別実績	交通安全運動の実施(年4回) 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰(個人表彰11名、団体表彰3団体) 交通安全保護者の会だより発行(5,000部)	交通安全運動の実施(年4回) 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰(個人表彰4名、団体表彰6団体) 交通安全保護者の会だより発行(5,500部)	交通安全運動の実施(年4回) 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰(個人表彰3名、団体表彰2団体) 交通安全保護者の会だより発行(6,000部)	交通安全運動の実施(年4回) 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰(個人表彰4名、団体表彰2団体) 交通安全保護者の会だより発行(6,000部)	交通安全運動の実施(年4回) 各種啓発活動の実施 交通安全大会の実施 交通安全功労者等の表彰(個人表彰9名) 交通安全保護者の会だより発行(6,000部)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,283	5,276	5,262	5,115	5,134	
	直接経費 A	4,533	4,533	4,533	4,363	4,398	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,533	4,533	4,533	4,363	4,398		
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	交通事故件数	件	目標	732	724	716	708	700
				実績	624	545	466	454	362
	(指標の説明) 1年間に市内で発生した交通事故の件数								
2	チャイルドシート使用率	件	目標	0	0	0	100	100	
			実績	0	0	0	250	108	
	(指標の説明) 市内保育園・幼稚園の園児たちのチャイルドシート使用の増加件数								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 市民活動係 0857-20-3182</p> <p>【9次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 交通事故の減少、意識の高揚には、地域や関連団体の協力が不可欠であり、それらにより組織される団体を支援するもの。</p> <p>【事業の成果】 市内における交通の円滑化と安全に関する諸問題について協議し、対策を推進することにより、交通事故の減少を図るとともに、交通安全思想の高揚に効果をあげている。</p> <p>(1) 鳥取市交通安全対策協議会（合併前の市町村単位で9地区会を組織） (事業の内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 交通安全運動の実施（年4回）</li> <li>2. 多発警報発令時などの各種啓発活動の実施</li> <li>3. 交通安全大会の開催（年1回）</li> <li>4. 交通安全功労者・団体表彰 など</li> </ol> <p>(2) 鳥取市交通安全保護者の会連合協議会（合併前の市町村単位で7地区会を組織） (事業の内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各地域での交通安全啓発活動</li> <li>2. 交通安全研修会の実施</li> <li>3. 保護者の会だよりの発行</li> </ol> <p>【今後の課題・方向性】 会議日程の合理化、事務処理の簡略化を進め、活動本体の計画又は実施に使える時間及び費用を捻出する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	交通事故件数	85%	75%	65%	64%	52%
	2	チャイルドシート使用率				250%	250%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	安全で安心なまちづくりの実現のためには、交通安全対策の向上と市民の交通安全意識の高揚を図ることが必要不可欠であり、補助金の交付は妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	鳥取市内の交通事故発生件数は目標値を超えるペースで減少を続けており、補助事業が一定の効果をあげているものと考えられる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	高齢者が関係する交通事故の増加等、交通事故状況の動向に応じた広報・啓発活動を実施している。また、警察署、交通安全協会をはじめとした関係機関とも適宜連携を行い、効率的な事業の実施に努めている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	交通安全事業のため、基本的には全市民がその対象であるが、各地域・地区の人口や世帯数等の個別の事情を考慮し公平な事業実施を行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	交通事故の傾向、状況を適宜見定め、より効率的かつ効果的な会の運営、事業計画を行っている。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001455	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	交通安全活動促進事業(鳥取市交通安全指導員会補助事業)		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	鳥取市交通安全指導員設置規則
施策	3302	防犯・交通安全対策の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	犯罪件数		1,773件	2,100件	運営方法	補助金交付
	交通事故発生件数		624件	700件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市交通安全指導員会補助金			予算事業コード	01-02-01-09-05-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	交通安全指導員
意図 (どのような状態にするために)	道路交通の安全保持及び安全運動の推進を目的に設置されている鳥取市交通安全指導員の資質向上を図り、交通安全の推進のための一助とする。
手段 (どうするのか)	交通安全指導員が一体となって活動している鳥取市交通安全指導員会を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 交通安全運動時等の街頭広報指導員の研修	平成24年度 交通安全運動時等の街頭広報指導員の研修	平成25年度 交通安全運動時等の街頭広報指導員の研修	平成26年度 交通安全運動時等の街頭広報指導員の研修	平成27年度 交通安全運動時等の街頭広報指導員の研修	
	年度別実績	交通安全運動時等の街頭広報指導員の研修 2回					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,479	3,465	3,437	3,464	3,451	
	直接経費 A	1,980	1,980	1,980	1,960	1,980	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,980	1,980	1,980	1,960	1,980		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	交通安全指導員会研修回数	単位	回	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	2	2	2	2	2				
	(指標の説明) 交通安全指導員回が指導員の資質向上のために実施する年間の研修回数										
2	交通安全運動期間中の立哨回数	単位	回	区分	目標	0	0	16	16	16	
	実績	0	0	25.5	16	16					
(指標の説明) 年4回の交通安全運動期間中の指導員の立哨回数(1人あたり)											
3		区分	目標	0	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)											

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 市民活動係 0857-20-3182</p> <p>【9次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 交通安全指導員は、道路交通の安全保持及び交通安全運動の推進を図るため、昭和43年設置。地域において、毎日交通安全指導・啓発を実践し、交通安全思想の普及と交通道德の高揚に努めている。本会は、指導員により結成されたもの。 平成22年度より、各地区会へ交付する補助金の算定基準を（基本（100,000円）＋会員数（定数）割）とした。</p> <p>【事業の成果】 交通安全指導員が一体となって活動している鳥取市交通安全指導員会を支援することにより、一層の交通安全に寄与している。 1. 交通安全運動時、交通事故多発警報発令時などの街頭広報強化 2. 市主催行事等における交通安全指導協力 3. 視察研修の実施 (事業の実績) ・児童登校時の交差点交通安全指導 ・花火大会、マラソン等多数の行事への協力（毎年度実施） ・交通安全研修施設での研修</p> <p>【今後の課題・方向性】 交通安全指導員の減少と高齢化が進んでいる。交通安全指導員の活動の周知等、効果的な事業の遂行に努め、交通安全指導員が地域の交通安全活動の中心として今後も活躍できるように推進する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	交通安全指導員会研修会数	100%	100%	100%	100%	100%
	2	交通安全運動期間中の立哨回数			159%	100%	100%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童生徒が安全に通学できるよう立哨活動に尽力され、地域での交通安全活動の中心となっている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	平成27年度の交通死亡者数は26年度と同じ12人だったものの、交通事故発生件数及び負傷者数は年々減少傾向にある。平成23年度を基点とする指数比較においても、鳥取市の発生件数・負傷者数の指数は全国の指数よりも低い結果となっている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	年4回の交通安全運動に応じて広報活動を実施し、近年の交通事故状況に則した運動を行っている。また交通安全対策協議会とも連携し、効率的な啓発活動を実施している。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	交通安全指導は全市民を対象にして行っており、特に交通事故被害にありやすい幼児・高齢者の事故を減少するために活動している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	交通安全指導員のなり手が減っており、その結果指導員の総数が年々減少し、また高齢化も進んでいる。そのため、今後指導員の数を増加させ、地域の交通安全の担い手を確保していくためにも、指導員の立哨活動・通学者や自転車利用者などへの指導方法・交通安全関係行事の内容などを、交通安全指導員会の活動を通じて一般市民に広く周知していく必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001459	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	交通安全施設事業		所属名	都市整備部 道路課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり	事業期間	全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る	根拠法令、根拠計画等	道路法
施策	3302	防犯・交通安全対策の充実			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分
	犯罪件数		1,773件	2,100件	
	交通事故発生件数		624件	700件	運営方法
予算	予算事業名	交通安全施設事業工事費		会計区分	一般会計
	予算事業コード			01-07-02-04-01-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	カーブミラー、道路表示等の交通安全施設
意図 (どのような状態にするために)	交通安全施設の整備、改修を実施することにより通行者の安全を確保するため
手段 (どうするのか)	地区要望や施設の現地調査に基づき歩道の改良、区画線等路面表示の施工、交通安全施設（ガードレール、誘導ブロック、カーブミラー、反射ポール、デリニエーター）等の設置、修繕を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修 歩道設置	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修 歩道設置	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修 歩道設置	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修 歩道設置	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修 歩道設置	
	年度別実績	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	40,771	35,435	27,303	26,811	29,004	
	直接経費 A	33,274	28,009	20,018	19,289	21,647	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	33,274	28,009	20,018	19,289	21,647		
人件費 B	7,497	7,426	7,285	7,522	7,357		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	地区要望実施率	%	目標	60	60	60	60	60
		実績	100	100	100	100	100		
	(指標の説明) 交通安全施設整備に対する地区要望実施件数								
2				目標	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明) 交通安全施設整備に対する地区要望実施率									
3				目標	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、3263</p> <p>【9次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P253（都040）</p> <p>【事業の概要】 自動車、自転車、歩行者等の円滑かつ安全な通行を確保するため、歩道の改良、区画線等路面標示の施工、交通安全施設（ガードレール、誘導ブロック、カーブミラー、反射ポール、デリニエーター）等の設置、修繕を行う。</p> <p>【事業の成果】 区画線等路面標示の施工、交通安全施設（ガードレール、誘導ブロック、カーブミラー、反射ポール、デリニエーター）等の設置、修繕</p> <p>【今後の課題・方向性】 現状を把握し計画的に修繕を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地区要望実施率	167%	167%	167%	167%	167%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	自動車、自転車、歩行者等の円滑かつ安全な通行を確保するため。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	自動車、自転車、歩行者等の円滑かつ安全な通行を確保するため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	現状を把握し優先順位付けを基に計画的な修繕を行っているため。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	道路整備は、公道という性質上すでに公平であるため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>道路の交通安全施設の整備は、車両は基より通行者の安全向上につながるものである。カーブミラー等の設置といった地区要望が多く、要望箇所を比較検討したうえで計画的に実施していく。また、事故が発生した際の道路管理者の瑕疵、責任が問われるようになっており、交通安全施設の整備の重要性はますます増大していくものと予想される。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	001456	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	街路灯設置事業		所属名	都市整備部 道路課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	
施策	3302	防犯・交通安全対策の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	犯罪件数		1,773件	2,100件	運営方法	直営
	交通事故発生件数		624件	700件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	防犯灯設置費		予算事業コード	01-02-01-11-11-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	街路灯、防犯灯
意図 (どのような状態にするために)	夜間における市民の安全な通行を確保するとともに、更新時にはLED化を推進するため
手段 (どうするのか)	設置、更新、取替を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・防犯灯の設置	平成24年度 ・防犯灯の設置	平成25年度 ・防犯灯の設置 ・防犯灯の取替	平成26年度 ・防犯灯等の設置・更新 ・防犯灯の取替・更新	平成27年度 ・防犯灯等の設置・更新 ・防犯灯の取替・更新	
	年度別実績	・防犯灯の設置 179基	・防犯灯の設置 178基	・防犯灯の設置 174基 ・防犯灯の取替 421基	・防犯灯等の設置 240基 ・防犯灯等の取替・更新 1,207基	・防犯灯等の設置 221基 ・防犯灯等の取替・更新 1,425基	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	19,503	19,773	21,559	51,609	43,734	
	直接経費 A	12,006	12,347	14,274	44,087	42,263	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,448	6,791	3,004	18,630	13,822
		地方債	0	0	2,300	15,000	23,275
		その他	0	0	1,748	2,533	2,620
	一般財源	6,558	5,556	7,222	7,924	2,546	
人件費 B	7,497	7,426	7,285	7,522	1,471		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		防犯灯等設置数	基	目標	165	165	165	270	165	
			実績	179	178	174	240	221		
		(指標の説明) 防犯灯新設数								
	2	防犯灯等取替・更新数	基	目標	0	0	400	500	400	
				実績	0	0	421	1207	1425	
	(指標の説明)									
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理係 0857-20-3261</p> <p>【9次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P171（都033）</p> <p>【事業の概要】 防犯灯等の設置により、夜間通行における踏み外し等の事故防止と、暗がり箇所を減少させ、心理的な安心感をもたらすことで、犯罪予防効果の増大を図る。さらに、防犯灯等をLED化し、CO2排出量の削減と電気代等の節減により環境にやさしく維持管理の容易な照明を普及し、夜間の安全な通行を確保する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯灯等設置（交付金、起債）</li> <li>平成25年度 174基 5,461千円</li> <li>平成26年度 240基 6,387千円</li> <li>平成27年度 221基 4,560千円</li> <li>・防犯灯等取替・更新（負担金等）</li> <li>平成25年度 421基 8,813千円</li> <li>平成26年度 1,207基 37,700千円</li> <li>平成27年度 1,425基 37,703千円</li> </ul> <p>【今後の課題・方向性】 設置要望数が多いため複数年かけて設置しており、要望のある限り継続実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	防犯灯等設置数	108%	108%	105%	89%	134%
	2	防犯灯等取替・更新数			105%	241%	241%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	夜間通行における踏み外し等の事故防止と、暗がり箇所を減少させ、心理的な安心感をもたらすことで、犯罪予防効果の増大が図られるため。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	夜間通行における踏み外し等の事故防止と、暗がり箇所を減少させ、心理的な安心感をもたらすことで、犯罪予防効果の増大が図られるため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	防犯灯等をLED化することで、CO2排出量の削減と電気代等の節減により環境にやさしく維持管理の容易な照明が普及でき、継続的に夜間の安全通行を確保することができるため。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	防犯灯において、継続的に夜間の安全通行を確保することができるが、取替によって地元の維持管理費の抑制が図られるため受益者負担も必要だから。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	市民の安全で安心して生活できる環境の整備は行政の責務である。整備コストは行政負担だが維持管理費用は地元といった現制度下での事業推進は、地域の自立性を高め、かつ防犯・防災意識の向上が期待され、安心・安全を確保するために必要な事業である。	